

転倒転落防止情報35

転倒・転落アセスメントシートを簡便化

2020年度から、転倒・転落アセスメントシートの項目と判定を変更しました。

【転倒・転落アセスメントシートの変更点】

- ・アセスメント項目:「頻尿」「日常生活に影響を及ぼす視覚・聴覚障害か疼痛がある」を削除、「判断力」「理解力」を1つのまとめました。
- ・判定:危険度「Ⅲ」→危険度「高」、危険度「Ⅱ」「Ⅰ」→危険度「低」としました。

危険度Ⅲ:看護診断・計画を立案

危険度Ⅱ:10日ごとにリスク評価

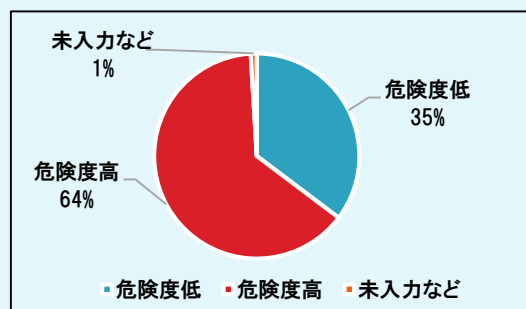
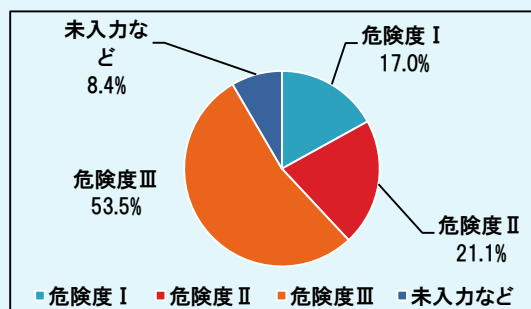
危険度Ⅰ:計画立案はしない

危険度高:看護診断・計画を立案

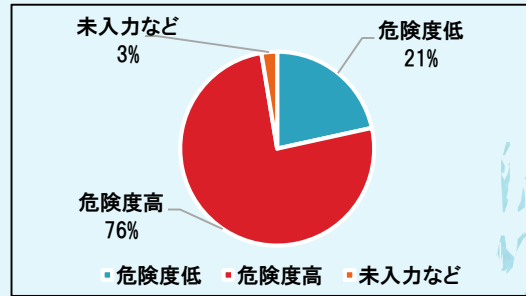
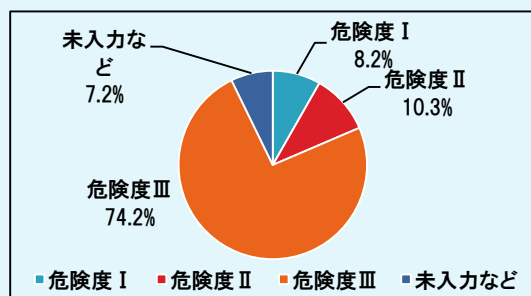
危険度低:計画立案はしない。ただし、状態変化時および30日ごとにリスク評価

変更後の転倒・転落の割合

<転倒>



<転落>



アセスメントの労力を減らしましたが、
転倒・転落防止対策への影響はありません!!